



29

アトリエ ポーラスターデザイン一級建築士事務所
建築家 長澤徹
物件所在地 栃木県宇都宮市
ミーレ製品 食洗機

この家は通常の間取りに段差を与えながらそこを通過するような導線で構成されています。上がったたり下がったりを日常的に行い、視界の変化が楽しめることを目指しています。キッチンとダイニングを大きな一枚の板で構成し、何段も段差を利用してそのカウンターを座卓、テーブル、キッチンカウンターとポジションの違う各場所で使いながら最終的に皆の視点の高さがほぼ同じになるというアイデアで住宅はできています。カウンターはあたかも温泉の水面のようで、水面に潜っていきながらぼーっとくつろげる。そしてまた、温泉からあがって活動的に過ごしてもらうための回遊導線を持った住宅です。このオープンなキッチンの形には、ミーレの食洗機がどうしても必要でした。

© ポーラスターデザイン一級建築士事務所 長澤徹 / 富野写真事務所 富野博則